

デジタル田園都市国家構想交付金【地方創生拠点整備タイプ】（R6年度分）の効果検証結果（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値）

No	①	②	③	④				⑤		⑥		⑦	
	事業名	総実績額（円） （国費ベース）		事業概要	本事業における重要業績評価指標（KPI）			本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標		指標値（累計値） ※令和5年度 終了時点	単位	実績値（増分） ※令和6年度 終了時点	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	サーフスポット機能向上 施設整備事業（R3）	62,726,457 (31,363,228)	シャワー室や更衣室等を備えた宮崎県木崎浜サー フィンセンターの建設。	指標①	有料シャワーの売上	1,029	千円	657	地方創生に効 果があった	地方版総合戦 略のKPI達成に 有効であった	スポーツキャンプの全県化・通 年化・多様目化に向けた誘致体 制の強化や、大規模大会の誘 致、スポーツツーリズムの推進な どを戦略的に進めるとともに、隣 県等との広域周遊を含むインパ ウンド誘客の強化や、本県の強 みである5つのS（食、スポーツ、 自然、森林、神話）を生かした観 光振興等が求められる。	事業を継続	引き続き、施設運営に必要な収入を安定的に確保し、 本県の代表的サーフスポットである木崎浜の魅力向上及 び施設PRに努める。
2	屋外型トレーニングセン ター整備事業（R4）	861,365,221 (1,722,730,443)	・スポーツを柱とした本県観光の振興・経済の活性化 を図ることを目的に、県が主体となり、ラグビー、サッ カー、陸上、トライアスロン等のトップアスリート等の合 宿拠点として活用できる「屋外型トレーニングセン ター」を整備する。 ・また、本施設では、スポーツにおけるICT活用の推進 を図ることとしており、キャンプチームの戦術確認のほ か、公開練習、大会等で県民やファンに対する映像配 信などで利用可能なAIカメラの整備やWi-Fiの導入 を行う。 ・デジタル技術の活用により、施設利用者（する人）や 観覧者（みる人）の利便性を高め、本施設の情報発信 を効果的に行うことで、施設の利活用、集客につなげ る。	指標①	スポーツキャンプ・合 宿、大会等での観客動 員数	24,853	人	-9,553	地方創生に相 当程度効果が あった	地方版総合戦 略のKPI達成に 有効であった	スポーツキャンプの全県化・通 年化・多様目化に向けた誘致体 制の強化や、大規模大会の誘 致、スポーツツーリズムの推進な どを戦略的に進めるとともに、隣 県等との広域周遊を含むインパ ウンド誘客の強化や、本県の強 みである5つのS（食、スポーツ、 自然、森林、神話）を生かした観 光振興等が求められる。	事業を継続	屋外型トレセン等を活用したスポーツ大会・合宿等の積 極的な誘致を図ることにより、全県化・通年化・多様目 化に取り組む。
				指標②	スポーツキャンプ・合 宿、大会等での延利用 者数	30,638	人	-3,275					
				指標③	スポーツキャンプ・合 宿、大会等と併せて実 施する県産品等販売機 会の新規創出件数	8	件	-1					